



最適な栽培環境の実現を目指して先進的取組にチャレンジ

農事組合法人鏡野町水気耕生産組合（岡水園）（岡山県苫田郡鏡野町下原1421-5）

TEL：0868-54-3727 / 代表者：小原恒亮（小原農園株式会社）

令和8年3月23日現在



経営概要

経営面積	岡水園としての施設面積は約1.6ha。
主な業務	施設トマト（大玉トマト・ミニトマト）の生産・出荷。
労働力	組合員4人（2代目の後継者）で運営（家族11名、従業員4名、パート38名）
取組の経緯	昭和54年4月に農事組合法人鏡野町水気耕生産組合「岡水園」を設立。同時に土を使わない「水気耕栽培（ハイポニカプラント）」を導入。平成29年には高度環境制御機器の導入などスマート農業を実践。



2代目後継者の方々



取組内容

経営の概要	2代目の後継者4人が先代の整えた生産団地「岡水園」を継承。それぞれが「岡水園」の施設を借りて栽培から販売まで行っている。
施設の概要	高度環境制御機器を導入し、日照量、二酸化炭素濃度、温湿度、養水分などを集中システムで管理。生産管理データの数値化（見える化）による栽培環境の最適化に取組み、年間を通した長期出荷体制を実現。（平成28年度産地パワーアップ事業を活用）
環境負荷低減の取組	「岡水園」設立時に、土を使わない「水気耕栽培（ハイポニカプラント）」を導入。その後、燃料費節減のための温風暖房機の導入やGAP（農業生産工程管理）に取組むなど持続可能な生産基盤を確立。また、タバコカスミカメ等の天敵を活用した防除体系を確立し、化学農薬の使用回数を大幅に削減。高温対策と省力化の工夫とあわせて、収量確保と環境負荷低減の両立を実現。
人材確保	外国人技能実習生の受入れにより、労働力不足を解消。また、農福連携の取組として福祉事業所に下葉切り等の作業を委託。繁忙状況に応じて受入れを行っている。



環境制御の様子



収穫間近の大玉トマト



今後の展望

- ◆ 高度環境制御施設の精度アップに向けて研究を重ね、各組合員の栽培知識や制御技術をさらに向上させ、作物の適切な生育を実現し、一般的な露地栽培の2倍超の収量を目指す。
- ◆ 引き続き、施設トマト産地の強みを維持しつつ、省力化・環境配慮・人材確保を組み合わせた経営の高度化を目指す。